

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第12週 > インフルエンザの定点当たり報告数は3週連続で低下したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態は継続している / その他最新動向



注目すべき感染症

< 今週は該当記事はありません >



病原体情報
P.5-6

インフルエンザウイルス 2004/05シーズン / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2004/05シーズン



速報
P.7

東京都におけるインフルエンザ発生状況



海外感染症情報
P.8

ベトナムでの鳥インフルエンザ流行状況 - 更新 / アンゴラ: マールブルグ病流行 - 更新



感染症の話
P.9-12

< 炭疽 > 炭疽菌の感染によっておこる人獣共通感染症で、自然感染の95%以上が皮膚炭疽である



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(12週)
P.13-19



12週のデータ
P.20-31



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

< 第12週コメント > 3月31日集計分

全数報告の感染症

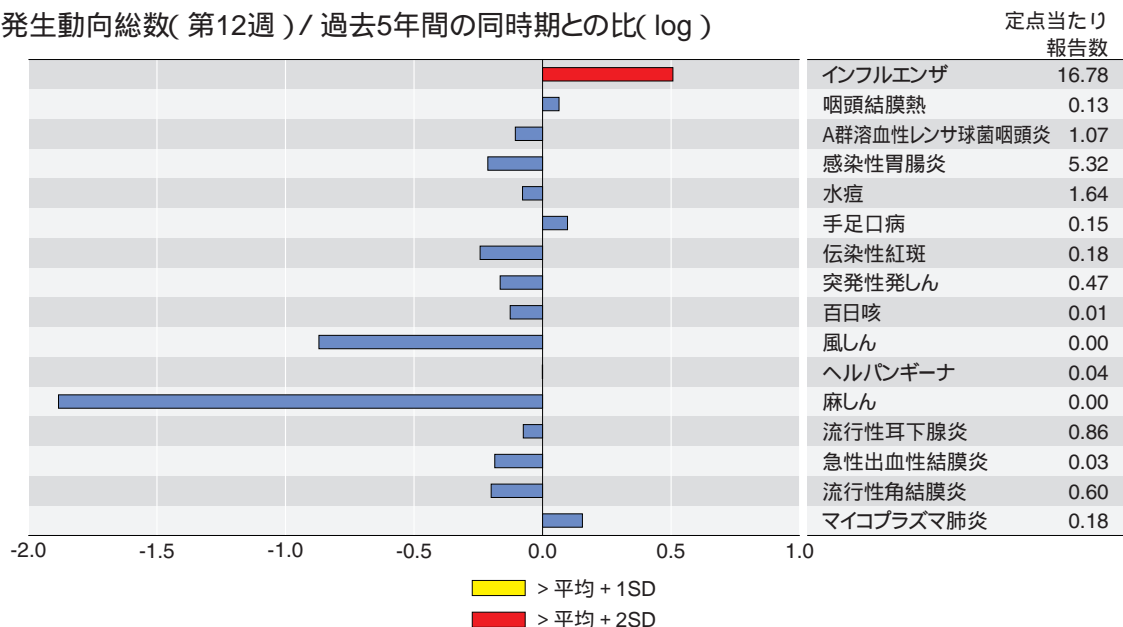
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: 細菌性赤痢 9例(推定感染地域: インド4例、インドネシア2例、カンボジア1例、ベトナム1例、疑似症1例)
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 13例(うち有症者9例)
 - 血清型・毒素型: O157 VT2(9例)、O157 VT1(3例)、O26 VT1(1例)
 - 年齢: 10歳未満(2例)、10代(1例)、20代(4例)、30代(2例)、50代(2例)、60代(1例)、70歳以上(1例)
 - 4類感染症: Q熱 1例(推定感染源: 不明)
 - 日本紅斑熱 1例(高知県)
 - レジオネラ症 1例(70代)
 - E型肝炎 1例(推定感染地域: 国内、推定感染源: 豚レバー)
 - A型肝炎 1例(推定感染地域: 国内)
 - 5類感染症: アメーバ赤痢 5例
 - 推定感染地域: 国内2例、パキスタン1例、中国1例、不明1例
 - 推定感染経路: 経口1例、性的接触2例(異性間1例、異性間/同性間1例)、不明2例
 - クロイツフェルト・ヤコブ病 1例(孤発性)
 - 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(80代)
 - 後天性免疫不全症候群 11例(無症候8例、AIDS 3例)
 - 推定感染経路: 性的接触9例(異性間1例、同性間8例)、不明2例
 - 推定感染地域: 国内10例、不明1例
 - 梅毒 4例(早期顕症11期2例、無症候2例)
 - 破傷風 1例(40代)
- (補)他に、報告遅れとして急性脳炎3例(A型インフルエンザウイルス1例(7歳)、B型インフルエンザウイルス1例(10カ月)、インフルエンザウイルス型不明1例(1歳))の報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第12週)/過去5年間の同時期との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

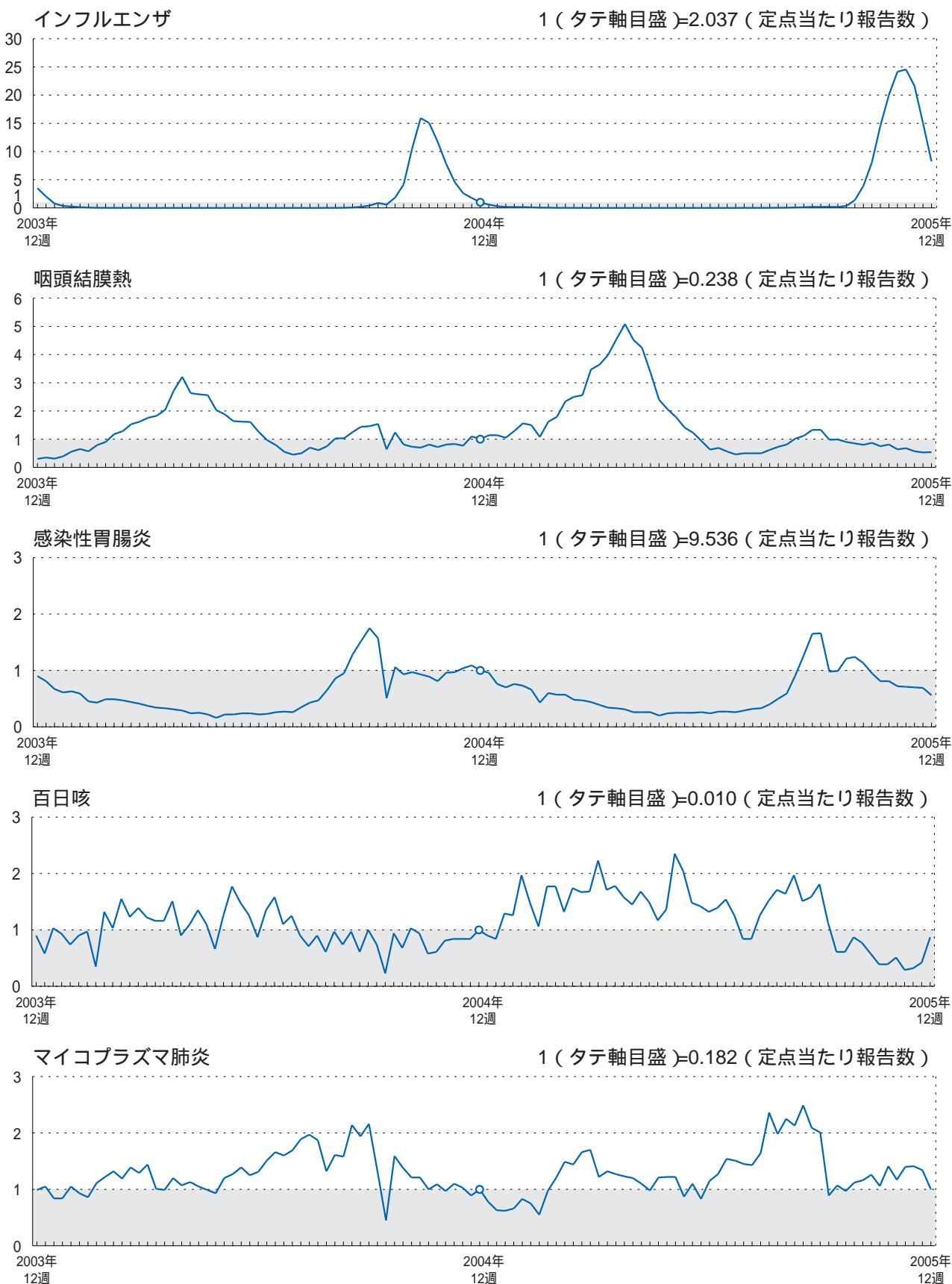
インフルエンザ定点報告疾患: 定点当たり報告数は3週連続で低下した。全ての都道府県で前週より定点当たり報告数が減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い状態は継続している。都道府県別では沖縄県(47.5)、秋田県(42.3)、福井県(37.8)が多い。

小児科定点報告疾患: 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では福井県(0.68)、三重県(0.49)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では山形県(2.8)、北海道(2.2)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第3週以降、減少傾向が続いている。都道府県別では宮崎県(15.4)、福井県(12.1)、大分県(9.6)が多い。水痘の定点当たり報告数は微増した。都道府県別では沖縄県(5.3)、宮崎県(3.5)、鹿児島県(2.9)が多いが、特に沖縄県では第4週以降、全国で最も高い値が続いている。手足口病の定点当たり報告数は微減した。都道府県別では徳島県(0.83)、和歌山県(0.71)が多い。百日咳の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では栃木県(0.07)、沖縄県(0.06)、熊本県(0.04)が多い。風しんの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では山形県(0.03)、和歌山県(0.03)、沖縄県(0.03)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は微減した。都道府県別では愛媛県(0.56)、和歌山県(0.32)、香川県(0.22)が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福井県(5.4)、熊本県(2.1)、佐賀県(2.0)が多いが、福井県では2004年第42週以降、高値が続いている。RSウイルス感染症はゼロ報告を含めて39都道府県から63例の報告があり、増加した。年齢別では、1歳以下が全体の67%を占めている。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では愛知県(0.69)、山口県(0.67)が多い。

図. 主要疾患の過去2年間の週別定点当たり報告数の動き(第12週)

2004年第12週の定点当たり報告数を1として各週の報告数値を換算し、主要疾患の過去2年間の増減を表している。





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2005年4月1日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2004/05シーズン

今シーズンは第2週以降、B型、A(H3)型がともに増加したが、B型の方が大きく増加して主流となっている。B型は2,214件(うち19件はPCRのみによる検出)、A(H3)型1,315件(うち13件はPCRのみによる検出)、A(H1)型158件の分離・検出が報告されている。

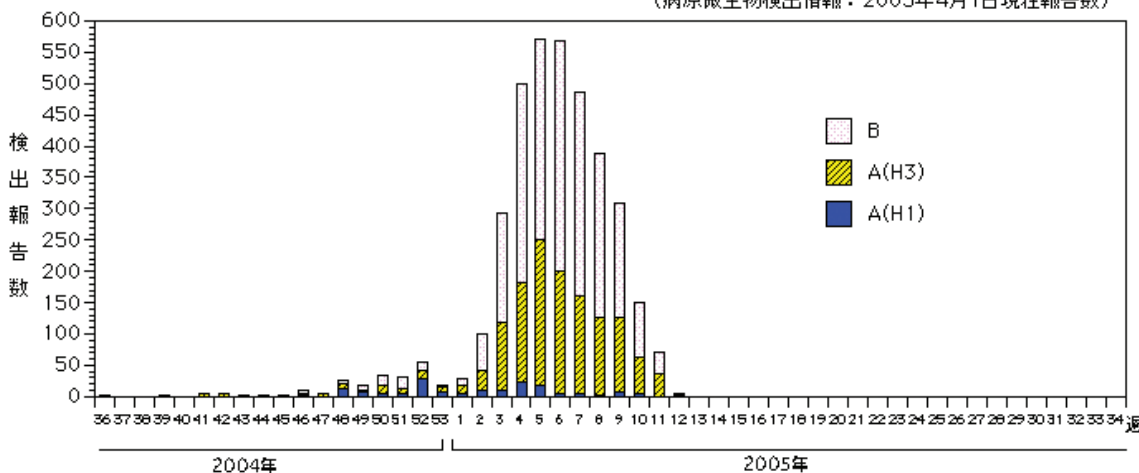
B型の第7～12週各週の報告数は325、262、183、85、34、4である。新たに長崎県(第3週)から分離が報告され、これまでに43都道府県から報告されている。第9週以降では、北海道86、兵庫県23などからの報告が多い。

A(H3)型の第7～12週各週の報告数は155、126、119、59、38、2である。新たに長崎県(第3週)から分離が報告され、これまでに42都道府県から報告されている。このうちN型別された78件はすべてN2であった(神奈川県57、埼玉県13、広島県8)。第9週以降では、北海道54、岩手県22、愛知県20などからの報告が多い。

A(H1)型は第48週以降少数ながらも報告が続いていたが、第7～12週までの週別報告数は、1、7、5、0、0で第10週以降の報告はまだない。これまでに16都道府県から分離が報告されている。このうちN型別された2件はともにN1であった(埼玉県、広島県各1)。第9～10週に分離が報告されているのは、北海道3、宮城県3、山形県2、岩手県2、秋田県1、岡山県1である。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2004/05シーズン

(病原微生物検出情報: 2005年4月1日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2004/05シーズン

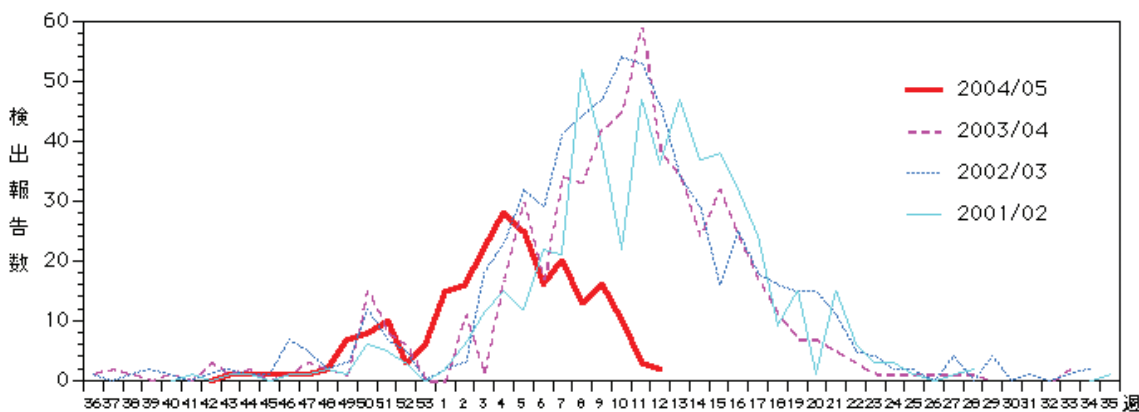
今シーズンはノロウイルスが1,451件、サポウイルスが47件、電顕による検出(SRSV)が8件報告されている。ノロウイルスの検出報告のうち、8割はgenogroup(G)IIで1,169件、GIは104件、G不明が178件である。GIIはこれまでに29都府県から、GIは21府県から報告されている。サポウイルスは13府県から報告されている。

ノロウイルス検出例の年齢は、1歳236が最も多く、次いで0歳108、3歳87、2歳86の順に多く、0～4歳が573(39%)、5～9歳が198(14%)である。また、食中毒や施設内集団発生事例からの検出報告の増加に伴ない、20歳以上の成人からの検出も487件(34%)と増加しており、うち190件(13%)は65歳以上の高齢者から検出されている。一方、サポウイルス検出例は0～4歳が34(72%)、5～9歳が7(15%)である。

ロタウイルスは、今シーズンは第1週から前3シーズンに比べて早く増加し始め、これまでに231件の検出が報告されている。内訳はA群227、C群2、群不明2である。A群は宮城県34、大阪府31、岩手県24、愛媛県22、徳島県19、千葉県17など25都府県から報告されている。奈良県と愛知県から報告されたA群の血清型はG1(3件)とG3(5件)であった。A群検出例の年齢は、1歳63、0歳48、2歳35、3歳17の順に多く、3歳以下の乳幼児が77%を占める。C群の2件は、岡山県の保健福祉施設内で起きた集団発生事例の成人からの検出である。

週別ロタウイルスの検出報告数、過去3シーズンとの比較(2001/02～2004/05)

(病原微生物検出情報: 2005年4月1日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。





東京都におけるインフルエンザ発生状況

東京都では感染症発生動向調査(以下、発生動向調査と略す)定点から、昨年より2週早い2004年の第41週に、今シーズン初のインフルエンザ患者3名が報告された。その後、第42週に26名、第48週までに154名の報告があった。この流行はA香港型(AH3型)による幼稚園を中心とした地域流行であったが(IASR 25: 336, 2004参照)、第49週からは小学校での集団発生へと拡大した。同時期に都内4地域でもAH3型による集団発生が起こり、流行が拡大していることが推察された。年末～2005年1月初旬までは大きな流行は確認されなかったが、発生動向調査により搬入された2名の男児検体から、東京都では3年ぶりとなるAソ連型(AH1型)を検出した。1月中旬からは本格的なインフルエンザ流行期に突入し、学校での集団発生、および発生動向調査での患者発生数が急増した。この流行はAH3型とB型による混合流行であった。B型の流行は例年、時期が遅く、規模も小さかったが、今シーズンは流行が急速に広がり、先行していたAH3型流行と併せて、2005年の第6週には定点当たり患者数が30人を超え、東京都では7年ぶりにインフルエンザ流行発生警報が発令されるなど、大きな流行となった。

発生動向調査により定点病院で採取された咽頭ぬぐい液、ならびに集団発生により採取された咽頭うがい液について、PCR法による遺伝子検査、およびウイルス分離検査を実施し、得られた分離株について遺伝子解析を行った。すなわち、今シーズン前半の流行株であるAH3型分離株、発生動向調査により検出されたAH1型分離株、流行拡大時のB型分離株の遺伝子をRT-nested-PCR法により検出し、PCRプロダクトを用いたダイレクトシーケンスにより、HA領域の一部の塩基配列を決定後、分子系統樹解析を行った。その結果、AH3型分離株A/Tokyo(東京)Y1019/2004等は、今季ワクチン株であるA/Wyoming/3/2003(H3N2)株を含んだ群に大別されるものの、そこから分枝した株であることが判明した。また、AH1型分離株A/Tokyo(東京)Y1454/2005は、過去5シーズンにわたってワクチン株となっているA/New Caledonia/20/99(H1N1)株に近縁な株であり、3年前の分離株と比べ、ほとんど変わりが無いことが判明した。一方、B型分離株B/Tokyo(東京)Y1290/2004等は、今季ワクチン株であるB/Shanghai(上海)Y361/2002株に近縁な山形系統のB型株であるが、系統樹上では近年の主要な分離株の遺伝子変異傾向よりも上流側に位置し、1996年に流行した株に近い位置にあった。また、昨年2月以降に都内における散発発生で検出された株と近縁であった。

これらの分離株を国立感染症研究所配布のインフルエンザウイルス判定用抗血清パネル、ならびにデンカ生研製ワクチン株抗血清を用いたHI試験(0.7%のモルモット赤血球液を使用)に供した結果、AH1型分離株はA/New Caledonia/20/99株抗血清(ホモHI価1,280倍)に対して640倍のHI価を示し、AH3型分離株はA/Wyoming/3/2003(H3N2)株抗血清(ホモHI価5,120倍)に対して2,560～5,120倍のHI価を有していた。また、B型分離株も、B/Shanghai/361/2002株抗血清(ホモHI価160倍)に対して80～160倍のHI価を有していたことから、今回分離したすべての株は、今季ワクチン株と高い交叉反応性を持つ株であることが明らかになった。

今季、東京都で検出されたインフルエンザウイルスは、北半球で流行しているAH1型およびAH3型と近縁なウイルスである。しかしながら欧州では、現在日本で流行の主流を占めている山形系統のB型株とは異なるビクトリア系統のB型株も流行しており、今後、日本でも増えてくる可能性も考えられるので注意が必要である。

東京都健康安全研究センター・微生物部ウイルス研究科

新開敬行 貞升健志 長谷川道弥 田部井由紀子 岩崎則子 甲斐明美

(IASR2005年4月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

ベトナムでの鳥インフルエンザ流行状況 - 更新

WHO/CSR 2005年4月4日

2005年4月4日時点でベトナム保健省は、新たに5名のH5型鳥インフルエンザウイルス株感染患者を確認した。

患者5名全員が、北部の港湾都市ハイフォン市出身の1家族であった。同家族は、35歳の父親、33歳の母親、13歳、10歳、および4カ月のいずれも娘3人である。家族全員が2005年3月22日入院となり、現在も経過観察中である。

2004年12月中旬以来、ベトナム当局はH5N1型鳥インフルエンザ感染患者33名を報告した。それらのうち15名が死亡した。2004年1月28日以来の鳥インフルエンザA(H5N1)型株感染確定患者累計数は、以下のURLで確認できる。

WHOホームページ

Confirmed Human Cases of Avian Influenza A(H5N1)

http://www.who.int/csr/disease/avian_influenza/country/en/

アンゴラ: マールブルグ病流行 - 更新

WHO/CSR 2005年4月4日

2005年4月2日時点でアンゴラ保健省は、マールブルグ病患者163名を記録した。そのうち、150名が死亡した。患者はUige ,Luanda ,Cabinda ,Malange ,およびKuanza Norte州で確認されている。Uige州が現在も流行の中心である。これまでのところ、他の州で確認された患者全員はUige州で曝露されたと考えられる。

移動サーベイランスチーム5組がうわさの調査を行っており、新たな患者の探索を継続している。接触者100名以上が経過観察されている。

WHOは、流行制圧のための全国的な行動計画完成のために、保健省と共に活動している。それには、WHOとGOARN内の国際的な機関からの一貫した技術的、および運営上の支援も含まれる。WHOはこの計画の遂行には、国際社会からの相当な支援が必要になると予想している。



感染症の話

炭疽

炭疽(anthrax)は*Bacillus anthracis*(炭疽菌)の感染によっておこる人獣共通感染症で、ヒトの病型には皮膚炭疽、腸炭疽、肺炭疽があるが、自然感染の95%以上が皮膚炭疽である。ウシなどの草食獣に比べて、ヒトは比較的抵抗性が強いといわれている。

疫学

炭疽は地球上に広く存在し、世界の多くの地域で発生がみられる。ヒトおよび動物の炭疽の発生は途上国や獣医衛生が立ち後れている国に多く、それぞれ年間2万人、および100万頭に達すると推定されている。先進国でみられる炭疽は、動物組織の処理過程での孤発的発生が多い。ヒトおよび動物の炭疽の自然感染は、偶発的に摂取(あるいは接触)した芽胞が原因であり、炭疽菌が個体から個体へ直接伝播されることはほとんどない。

世界的にはスペイン中部からギリシャ、トルコを経てイラン、パキスタンに及ぶ汚染地域は、炭疽ベルトとも呼ばれる。また、ロシア、中央アフリカ、南アメリカなどでも発生が多い。

近年わが国では家畜衛生などの対策が功を奏して、動物の炭疽発生は極めて少なくなっている。伝染病統計によると、ヒトの炭疽については第二次世界大戦後の1947年には13例報告されていたが、その後次第に減少し、1974年以降にはほとんど見られなくなり、1982年と1984年にそれぞれ1例ずつ、1992年と1994年にそれぞれ2例ずつの報告があるのみである。

2001年の米国での生物テロによる発生は、郵便物に粉と一緒に炭疽菌を同封したことにより生じた。最初の症例は2001年9月27日に発症しているが、結局12月7日の時点で肺炭疽11例(すべて確定例)、皮膚炭疽12例(確定7例、疑い5例)計23例の症例を出している。

病原体

炭疽菌は土壌などの環境中で芽胞として長期間生存し、動物に感染を繰り返す。芽胞が生体内に侵入すると発芽し、栄養型として体内で急速に増殖し、炭疽を発病する。感染した動物の血液、体液、死体などで地表が汚染されると、その土壌は再び感染源となりうる。炭疽菌はこのような感染サイクルを繰り返して、炭疽汚染地帯を作る。炭疽菌は酸素と接触することによって芽胞を形成して、熱、乾燥、消毒薬などに対する強い抵抗性を獲得する。このため、土壌中などで長期間にわたって生存することができる。

炭疽菌は好気性グラム陽性大桿菌(1～2 μm×5～10 μm)で、他の*Bacillus*属の菌と異なり、鞭毛を欠いて運動性がない。ヒツジ赤血球に対するベータ溶血、ゼラチン分解、およびサリシン分解を行わない。生体内では菌体表層に莢膜を伴う単独または短い連鎖状であるが、人工培地では莢膜の形成は認められないか弱く、竹節状の長い連鎖となる。寒天培地上では、辺縁が縮毛状の集落を形成する。

炭疽菌の病原因子は浮腫毒と致死毒である。これらの毒素は防御抗原と呼ばれるタンパク質によって宿主細胞内に運ばれる。炭疽により動物が死亡するのは、致死毒によるショックが原因と考えられている。

莢膜形成および毒素の産生は、菌の保有する莢膜プラスミド、および毒素プラスミドにより支配を受けている。野外から分離される強毒株は、通常この2種類のプラスミドを保有する。莢膜にはポリDグルタミン酸が含まれるため、食作用を受けにくい。

臨床症状

ヒトの病型は伝播様式によって皮膚炭疽(経皮感染)、腸炭疽(経口感染)、および肺炭疽(吸入感染)の3種に分けられる。

皮膚炭疽(炭疽よう):自然感染による炭疽の95%以上が皮膚炭疽である。炭疽菌芽胞は正常の皮膚からはほとんど侵入せず、創傷部から体内に取り込まれる。炭疽菌や芽胞を含んだ動物、またはその成分と接触した後1～10日して、小さな掻痒性、無痛性の丘疹が出現し、周囲に発疹と浮腫が出現する。丘疹は崩壊し、潰瘍を形成する場合がある(図1)。局所リンパ節の腫脹が著しい。未治療の場合の致死率は10～20%とされる。

腸炭疽(出血性小腸炎):感染獣の肉を摂食して発症する。症状は悪心、嘔吐、食欲低下、発熱で始まる。2～3日後に、激しい腹痛と血性下痢がみられる。この激しい症状のあと、毒血症、ショック、死亡に至ることがある。病変は盲腸にみられ、ときに他の大腸部や十二指腸にもみられる。致死率は25～50%とされる。

肺炭疽:発生はきわめてまれである。1979年、旧ソ連の軍施設から飛散した芽胞によって、64名が肺炭疽のために死亡したとされるが、この事故以前には30例のみが知られていたにすぎない。初期にはインフルエンザ様症状(軽度の発熱、倦怠感、筋肉痛など)または気管支肺炎様症状を示し、発熱、呼吸困難、咳、頭痛、嘔吐、悪寒、脱力、腹部と胸部の疼痛が見られる。胸部レ線上、胸水をともなった縦隔の拡張がみられることが多い(図2)。未治療での致死率は90%以上に達するとされる。

動物における炭疽は草食獣、特にウシやウマなどに多い。超急性/卒中性感染、急性感染、および亜急性/慢性感染の病型が知られている。症状は眼結膜の充血、可視粘膜の浮腫、呼吸困難などで、感受性の強い動物は、急性敗血症や尿毒症による腎障害を呈して死亡する。

病原診断

確定診断は炭疽菌の分離同定によって行う。検体の直接染色によりグラム陽性芽胞形成性の桿菌、寒天培地上で特徴的な集落の形成などがみられ、血液寒天培地で非溶血性で運動性がない場合には、炭疽菌を疑う。さらに、ガンマファージテスト、パールテスト、アスコリーテストを行って陽性であれば、炭疽菌と確定できる。



図1. 典型的な皮膚炭疽の所見。すでに潰瘍化し、中央部は黒色の底を有するescharとなり、周囲は浮腫状である。

(The Gorgas Course in Clinical Tropical Medicine, Anthrax Casesより引用)

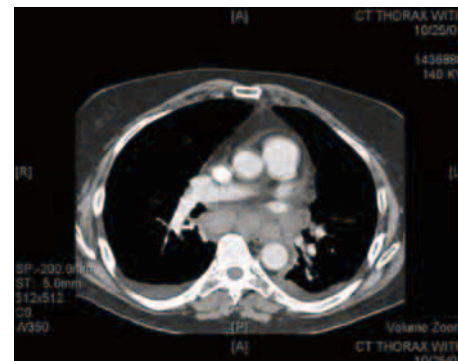


図2. 米国の肺炭疽症例での胸部CT写真。縦隔リンパ節の腫脹と、両側性の胸水貯留。

(Emerging Infectious Diseases, Vol. 7, No. 6, Nov-Dec 2001の記事より引用。http://www.cdc.gov/ncidod/eid/vol7no6/jernigan.htm)

他の診断方法として、莢膜染色(レビーゲル染色)、抗原検出法、PCR法などがある。このうちPCR法では、炭疽菌の防御抗原や莢膜抗原などの遺伝子を標的として検出するためのプライマーが報告されている。PCR法の利点は他の菌が混入していても検出できる点と、試料の新鮮さを問わない点であり、病原診断にきわめて有用である。

治療・予防

炭疽菌による曝露が明らかな場合、経口感染や吸入感染であっても、発症前であれば抗菌薬による曝露後治療が効果的とされる。発症者には200万単位のペニシリンG、またはシプロフロキサシンの静脈内投与が効果的とされる。

旧ソ連の事故では、入院患者に対してペニシリンまたは他の抗菌薬、免疫グロブリン、コルチコステロイドの投与、および器械的人工呼吸法などの治療が行われた。

ヒト用の無細胞ワクチンが実用化されているが、その投与方法および副作用の問題もあり、わが国では承認されていない。また、生物テロ事件に対しての米国の対応でも、ワクチン接種は一般にはすすめられなかった。ウシおよびウマの予防には、プラスミドにコードされる莢膜が脱落した無莢膜ワクチン株が、生菌ワクチンとして用いられている。

家畜からヒトへの伝播の防止は、病獣の同定診断と淘汰が第一である。非流行国における炭疽の発生は、流行地域から輸入される羊毛や骨などの動物産品からおこる可能性がある。

汚染の除去、消毒および滅菌

炭疽菌芽胞により汚染された身体、器物および環境からの芽胞の飛散を最小限に抑える一方、以下に掲げるいずれかの消毒薬、または滅菌法を用いることが奨められる。どの方法を用いるかは、対象物の性質(生物材料、器物、建造物の一部、土壌、水など)や、処理後の用途(廃棄、再使用など)によって異なる(表1)。汚染物の取り扱いにはガウンなどを着用する。汚染された可能性のある衣服(靴、ソックス、ストッキング、および袖や襟が汚染された場合には上着)はできるだけ早く脱衣して、缶かバッグに入れ、消毒やオートクレープ処理を行う。

最終消毒の終了後、室内あるいは動物舎のような閉鎖空間は十分に換気を行い、消毒剤が人体に悪影響を及ぼさないように注意してから再使用する。

なお、芽胞を効果的に消毒するのはきわめて困難であり、状況によってはこれを完全に実施するのは不可能な場合がある。また、消毒作業の効果を推定することはできないので、確認する場合は、スワブを採取して培養によって確かめる。

- ・10%フォルムアルデヒド(30%フォルマリン)...1～1.5 //m²、2時間、10 以上
- ・4%グルタルアルデヒド(pH8.0～8.5)...1～1.5 //m²、2時間、10 以上
- ・3%過酸化水素水...0.5 //m²、2時間
- ・1%過酢酸...0.5 //m²、2時間
- ・焼却
- ・オートクレープ処理...121 20～30分
- ・エチレンオキサイドガス滅菌

表1. 対象物ごとの炭疽菌汚染の除去方法

検査室における消毒	病院用の殺芽胞剤、または0.5%次亜塩素酸溶液（家庭用漂白剤の10倍希釈液、有効塩素濃度100,000 ppm）を用いて、消毒を行う。ベンチコートなどの実験台カバーを用いる。
人体の汚染	皮膚の汚染部位は次亜塩素酸溶液（有効塩素濃度5,000 ppm）に1分間浸したあと、石鹼を使って十分に水洗いする。皮膚に損傷がある場合には次亜塩素酸溶液は用いず、血液を絞り出してから傷口を十分量の水を用いて洗浄する。目に飛散した場合には、目をこすらず、直ちに大量の水で十分に洗い出す。口腔内の汚染では直ちに口の中のものをつき出し、次亜塩素酸溶液（有効塩素濃度2,000 ppm）で口腔内を十分にすすぎ、次いで何回か水で口腔内をすすぐ。人体の汚染が考えられた場合には直ちに医師による診察を受け、最低1週間は観察下に置く。
建物などの汚染	床などの上に滴下したり飛散したものは直接、または汚染区域を吸湿性物質で覆ってから、次亜塩素酸溶液（有効塩素濃度10,000 ppm）、10%ホルマリン、4%グルタルアルデヒド、または1%過酢酸を十分にふりかける。2時間以上経過してからタオルペーパーでふき取り、ペーパータオルは袋に入れて焼却する。
衣服、道具、器物などの汚染	可能な場合には汚染した器物は焼却、またはオートクレーブ滅菌を行う。使い捨てにしない器物の場合には、付着している大きなゴミは焼却用袋、またはオートクレーブ用袋にそそぎ落としたあと、器物それ自身は4%ホルムアルデヒド溶液、または2%グルタルアルデヒド溶液に一晩（8時間以上）浸漬する。 器具、機器類でオートクレーブ滅菌、煮沸滅菌、またはホルマリンなどの溶液に浸漬できないものには、薫蒸滅菌を考慮する。適切な構造と気密性を保ったチャンパーに汚染物とホルマリン（水で2～3倍に希釈）を入れ（約15 ml/m ² ）煮沸蒸発させたあと、常温（18℃）で12時間以上放置する。薫蒸処理中のチャンパー内の相対湿度は90%以上とする。薫蒸処置が終了したときの換気装置は、人や動物が移動する場所から離れた位置に備える。 ホルムアルデヒドに代えてエチレンオキシドガスによる滅菌も可能である。エチレンオキシドガスの使用は、整った設備とその運転経験のある施設に限って行うべきである。
水の汚染	汚染水の滅菌・消毒にはオートクレーブ滅菌、ホルムアルデヒドによる滅菌、塩素剤による滅菌、濾過滅菌などが考えられるが、水の溜まり場所、芽胞の推定濃度、処理する水の量、その水が流れて行く先、および処理後の水の使用目的などの状況を判断して、最もよい解決方法を適用する。

感染症法における取り扱い

炭疽は4類感染症に定められており、診断した医師は直ちに最寄りの保健所に届け出る。報告のための基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断がなされたもの

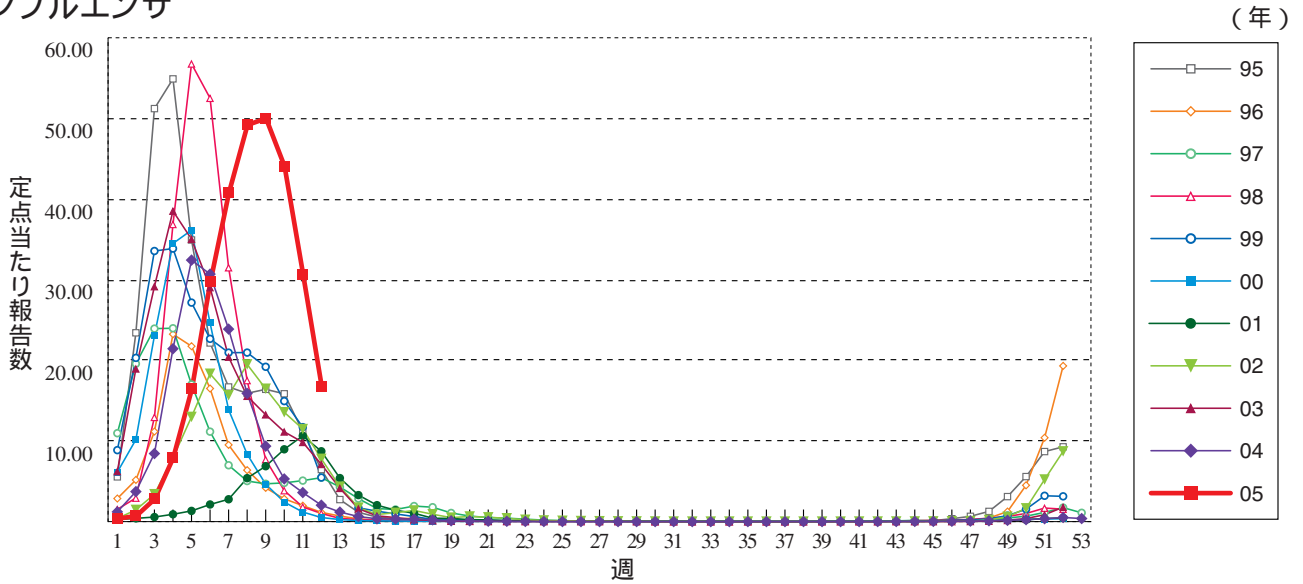
- ・病原体の検出

例：病巣組織や血液からの菌の分離・同定(鏡検・培養)と、分離した菌のガンマファージテスト、パールテスト、アスコリーテストによる確認など

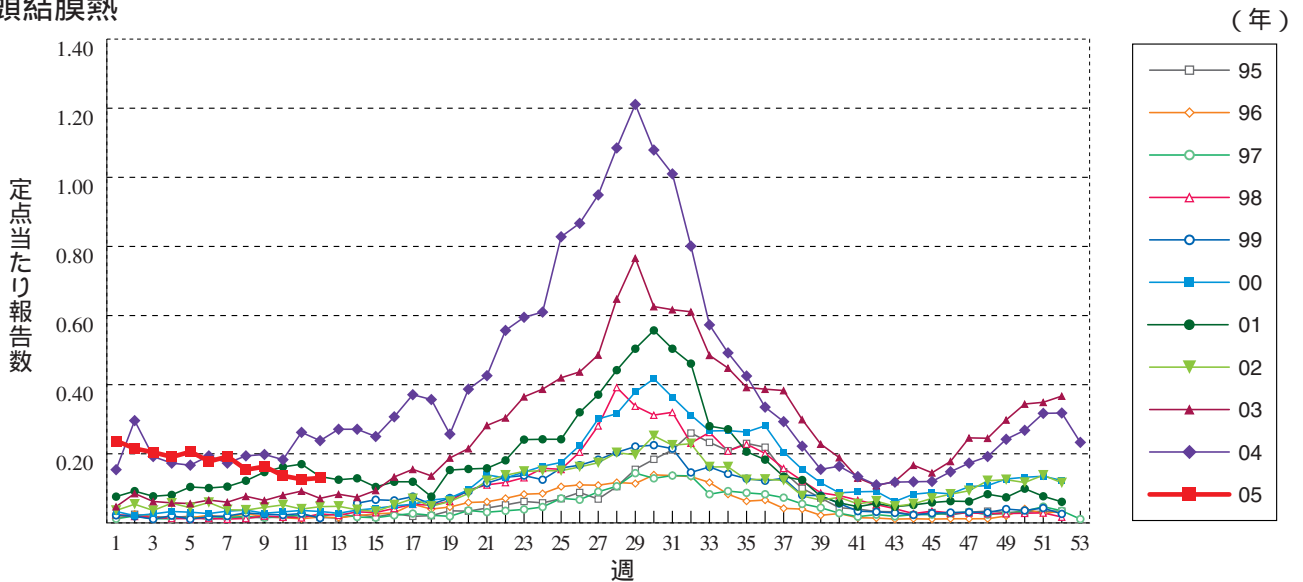
(国立感染症研究所獣医科学部 神山恒夫)

グラフ総覧(12週)

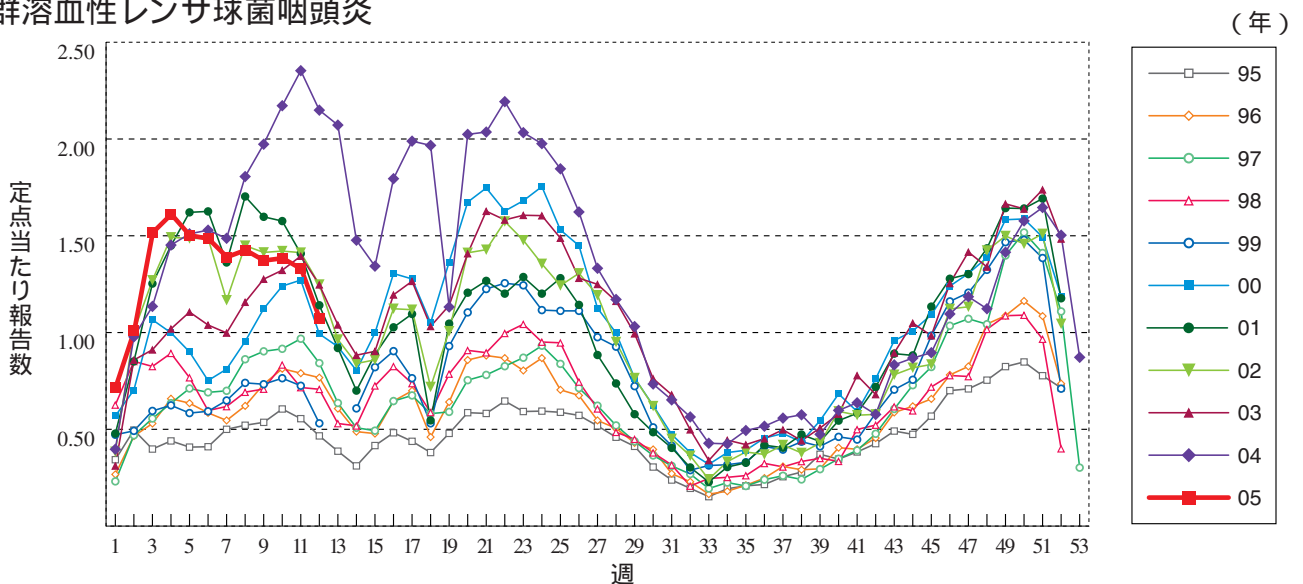
インフルエンザ



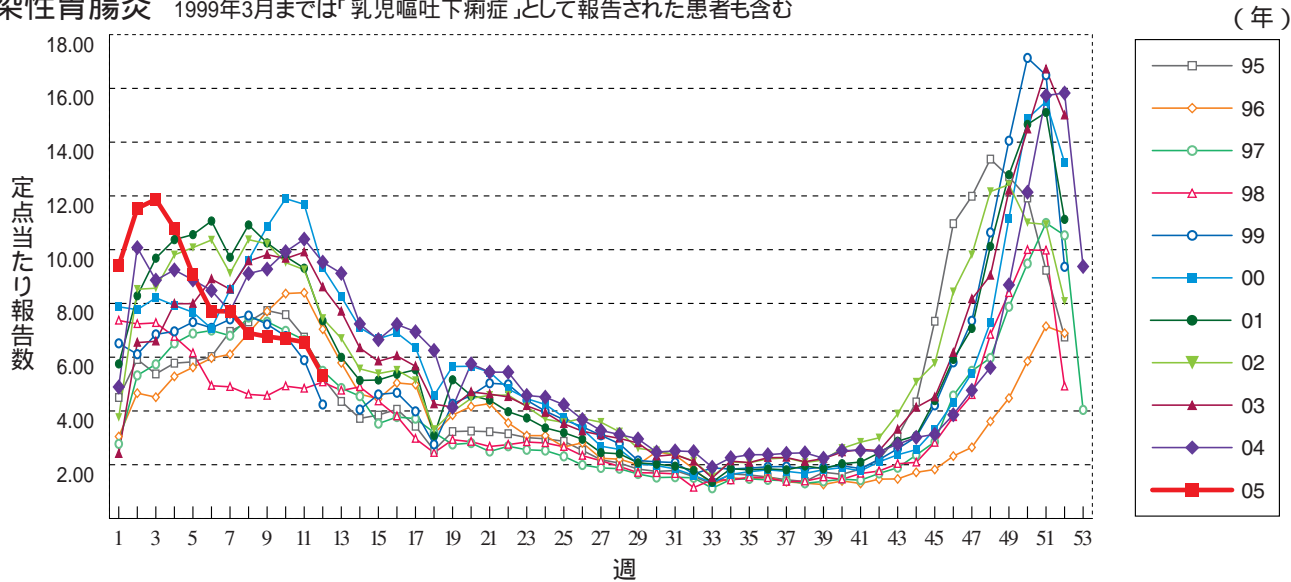
咽頭結膜熱



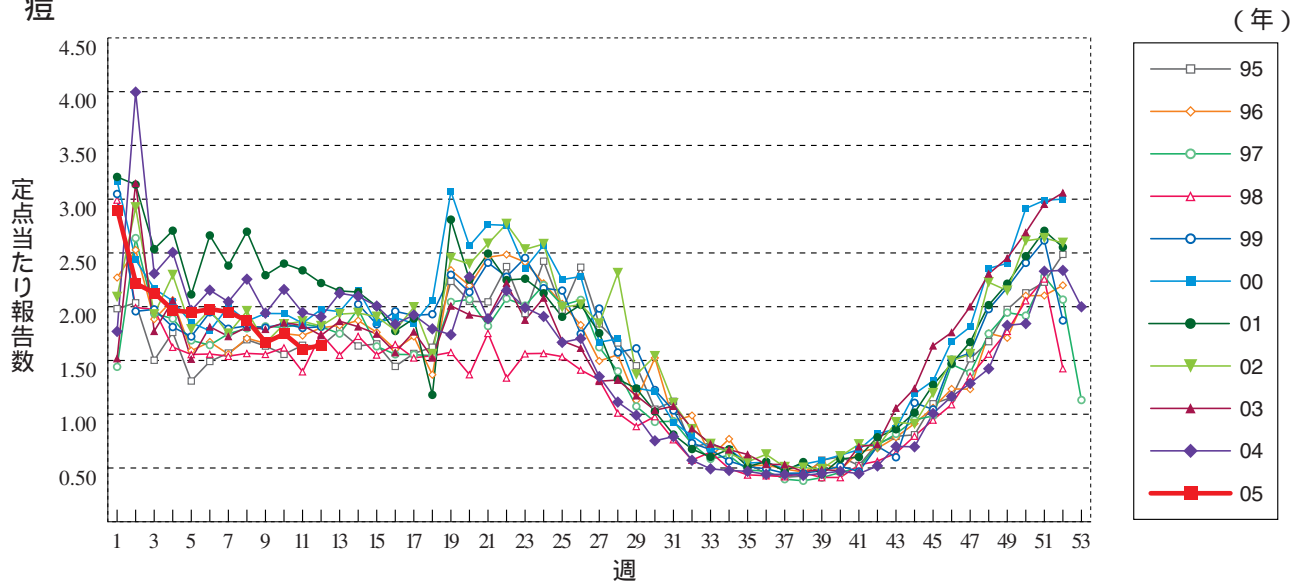
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



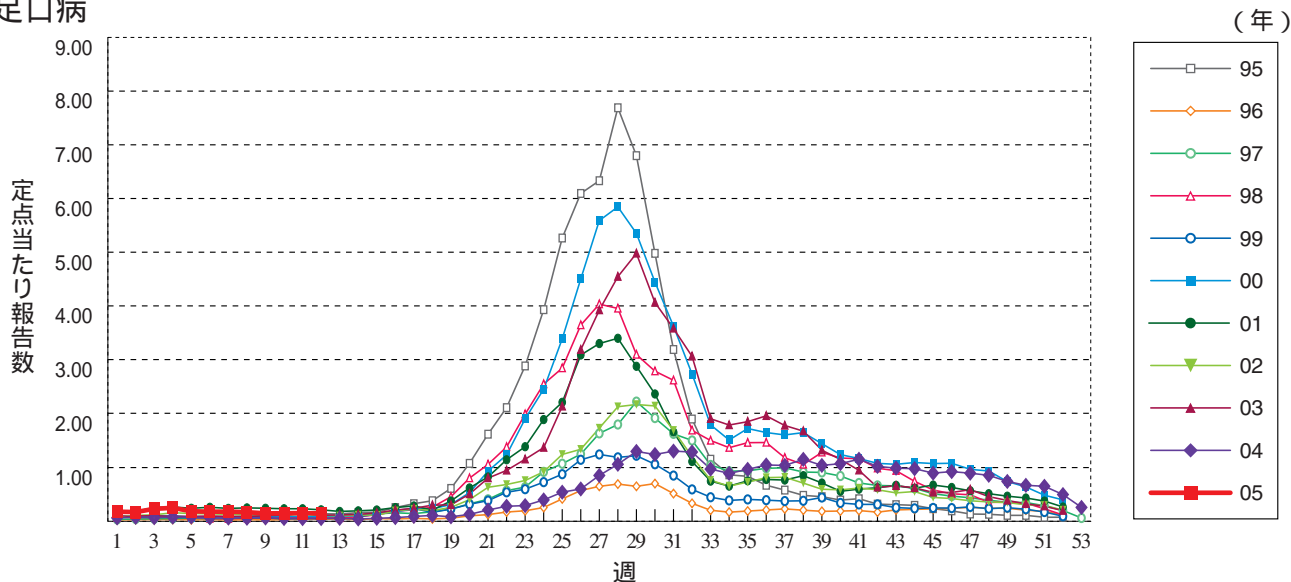
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



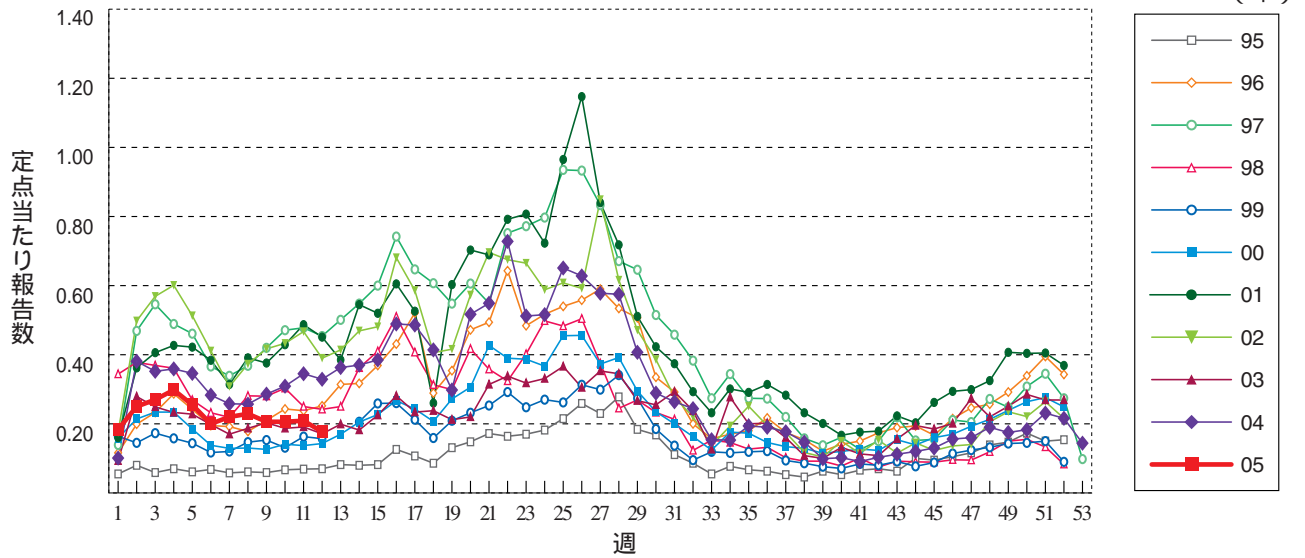
水痘



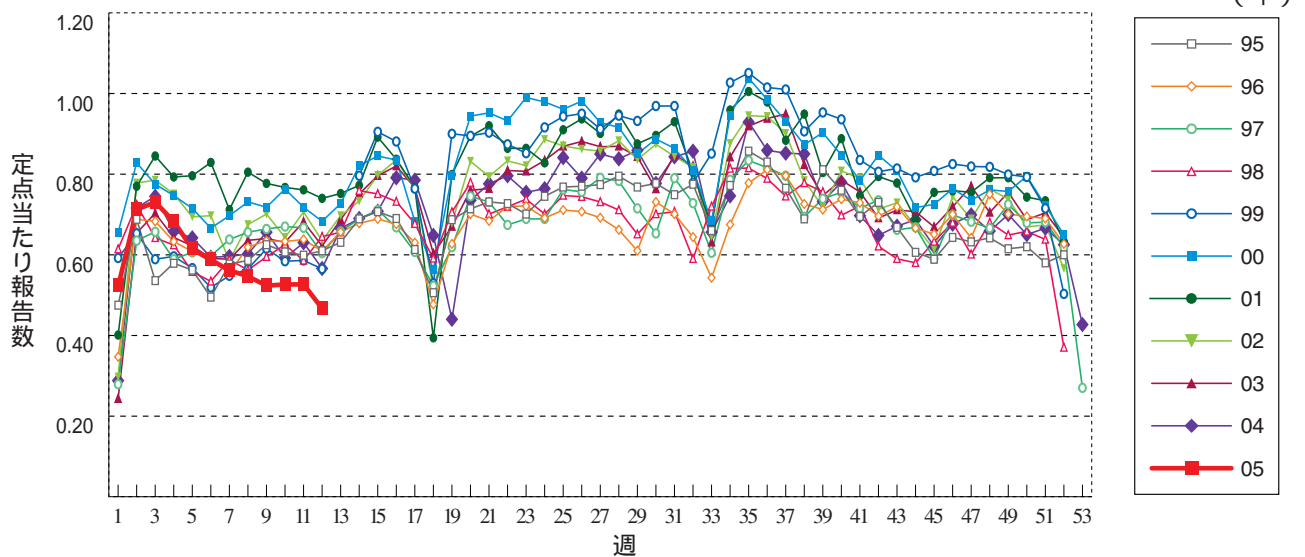
手足口病



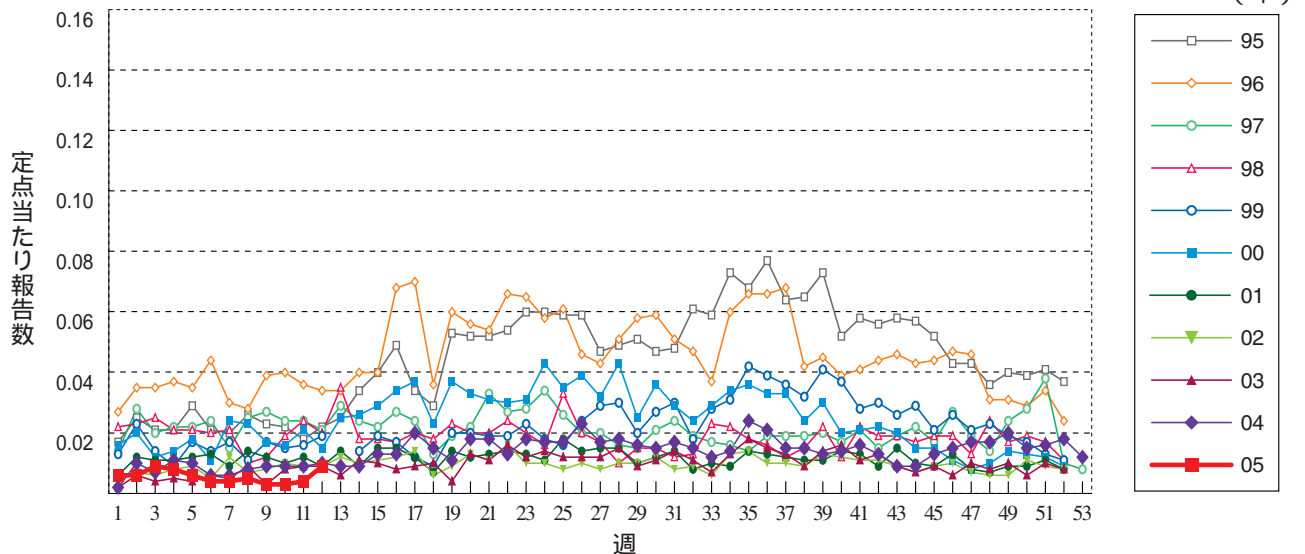
伝染性紅斑



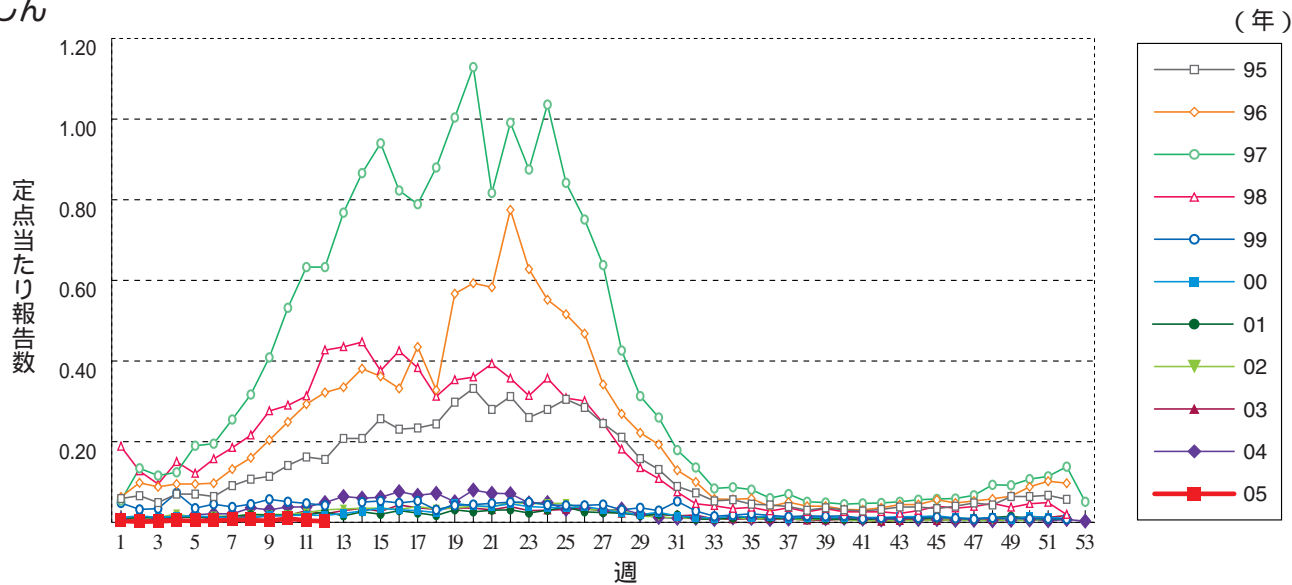
突発性発しん



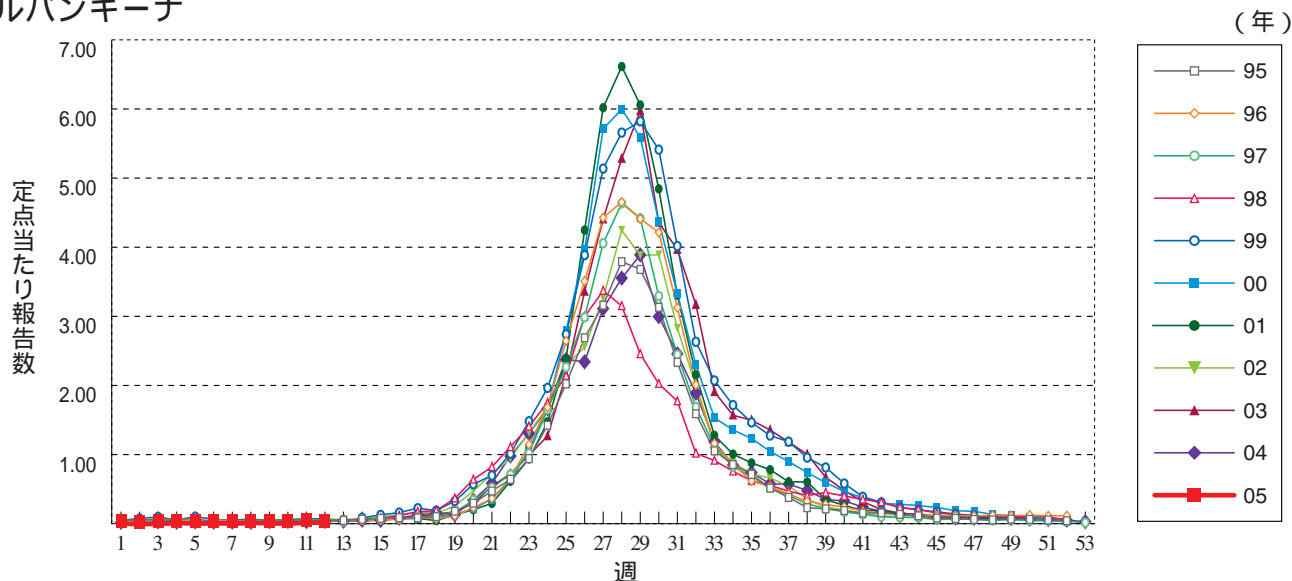
百日咳



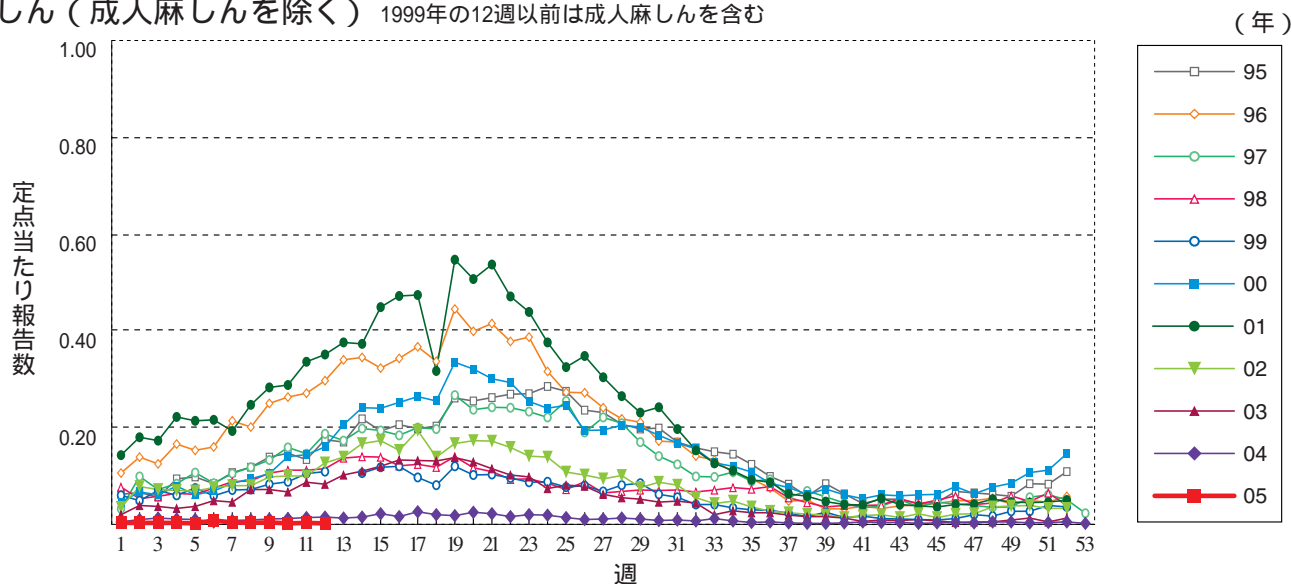
風しん



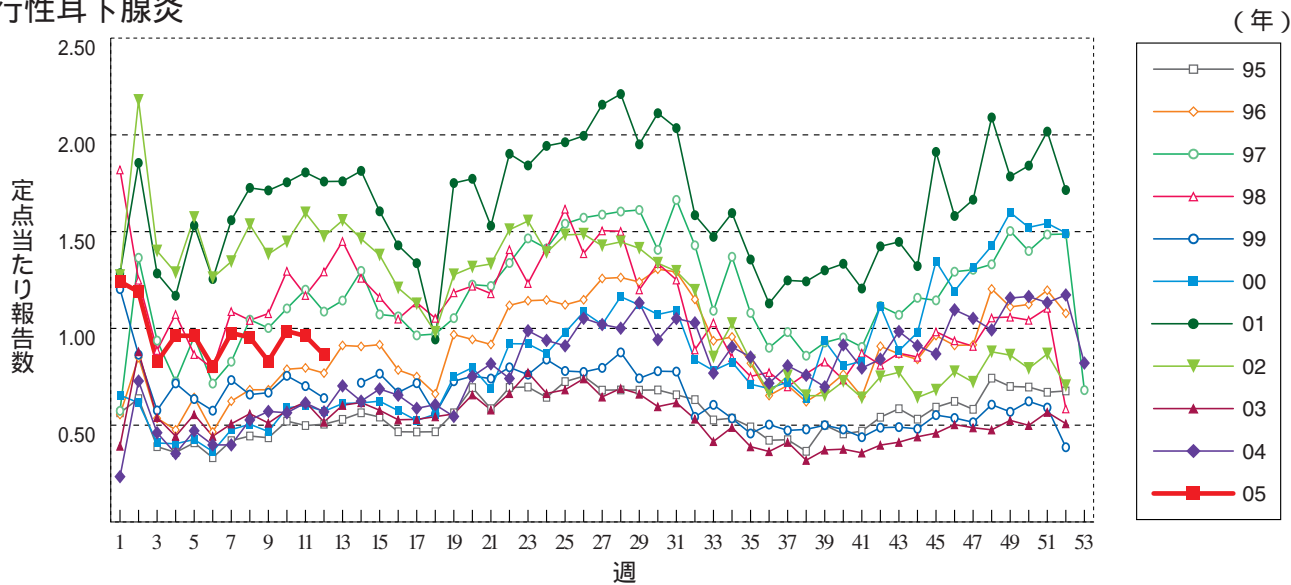
ヘルパンギーナ



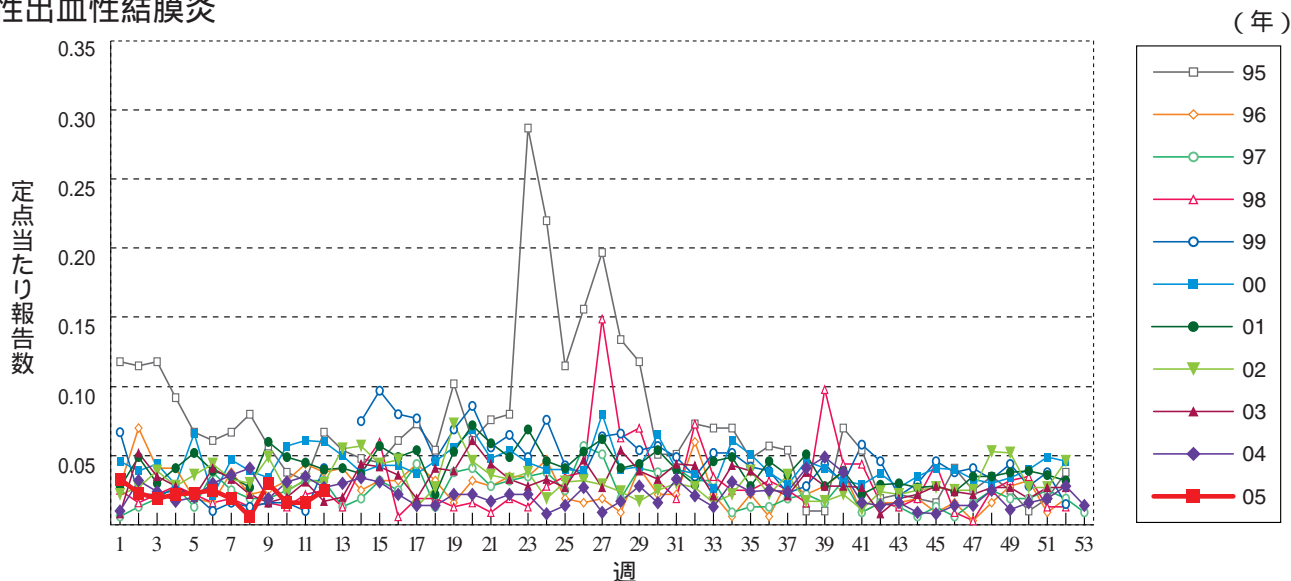
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



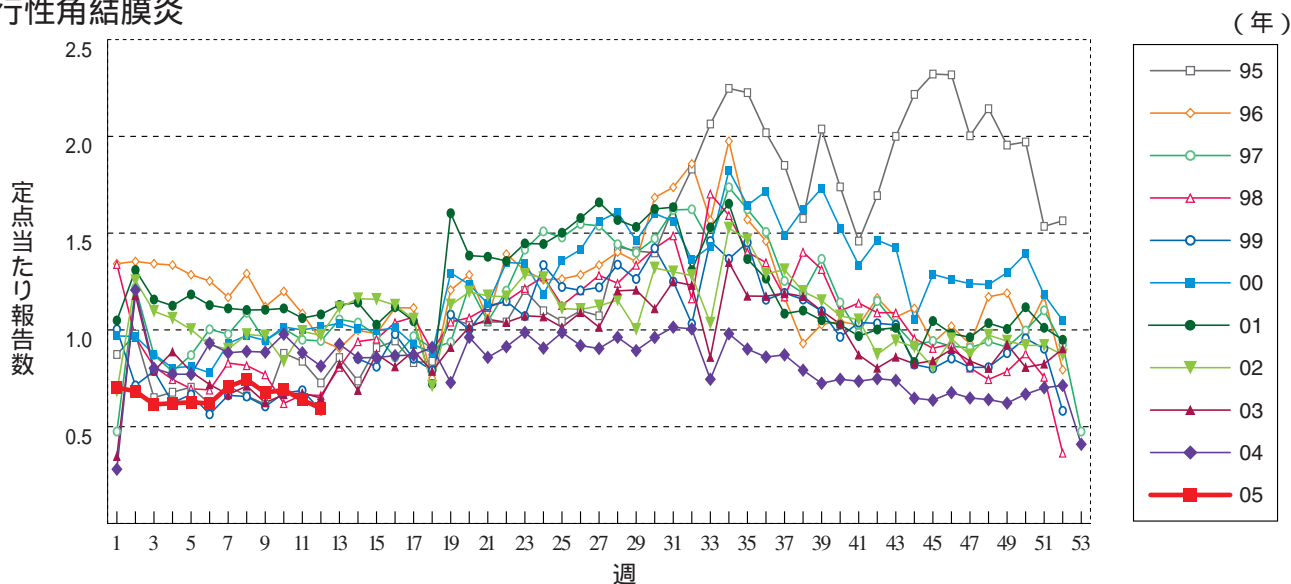
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

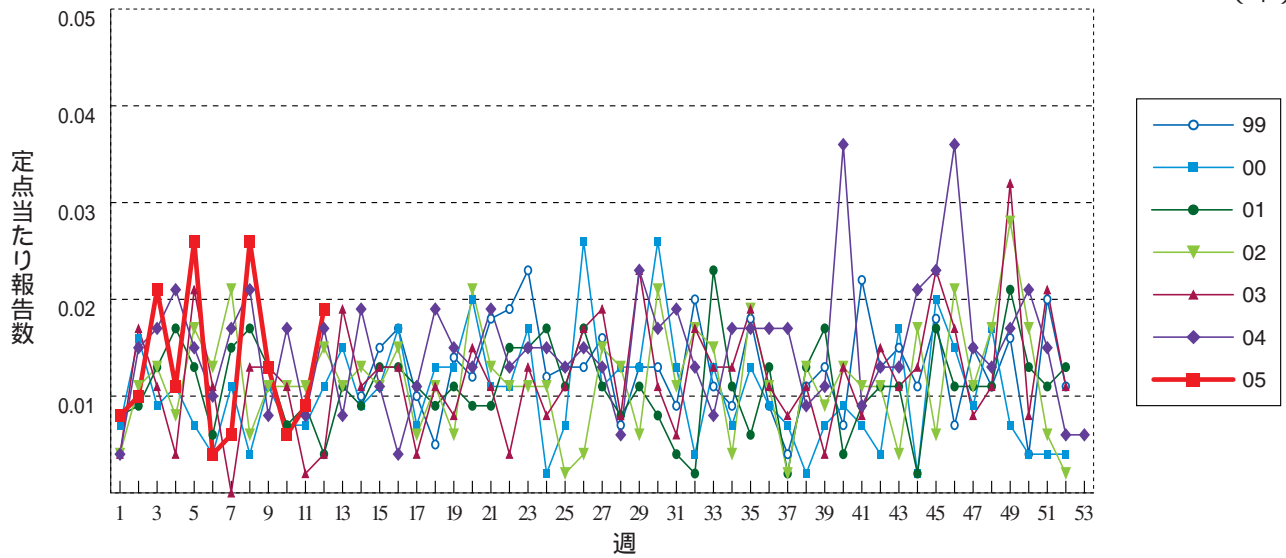


流行性角結膜炎



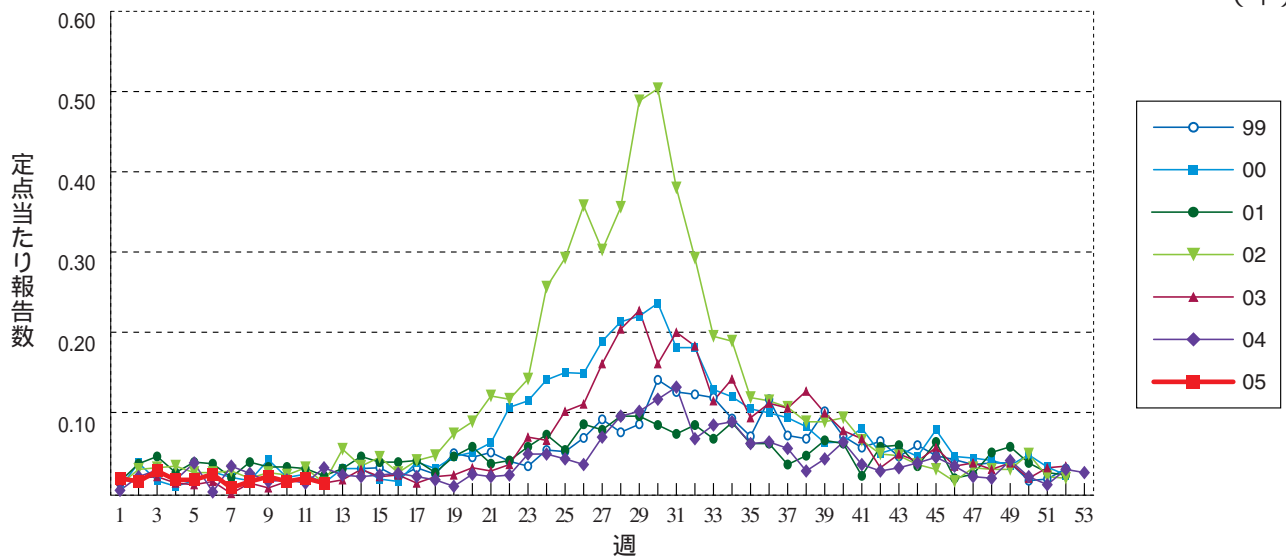
細菌性髄膜炎

(年)



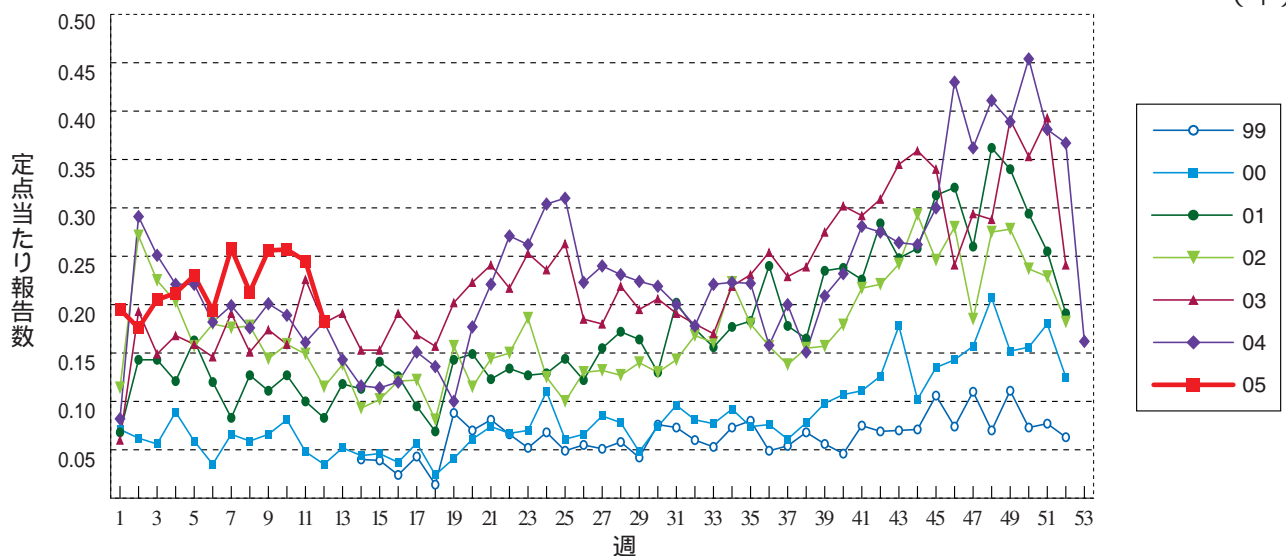
無菌性髄膜炎

(年)



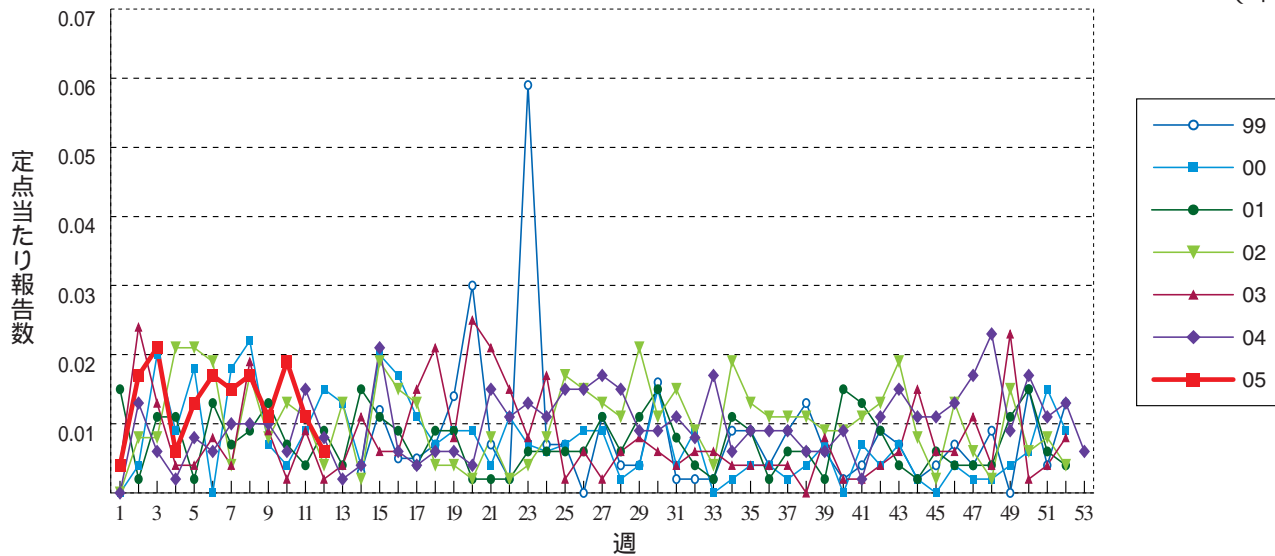
マイコプラズマ肺炎

(年)



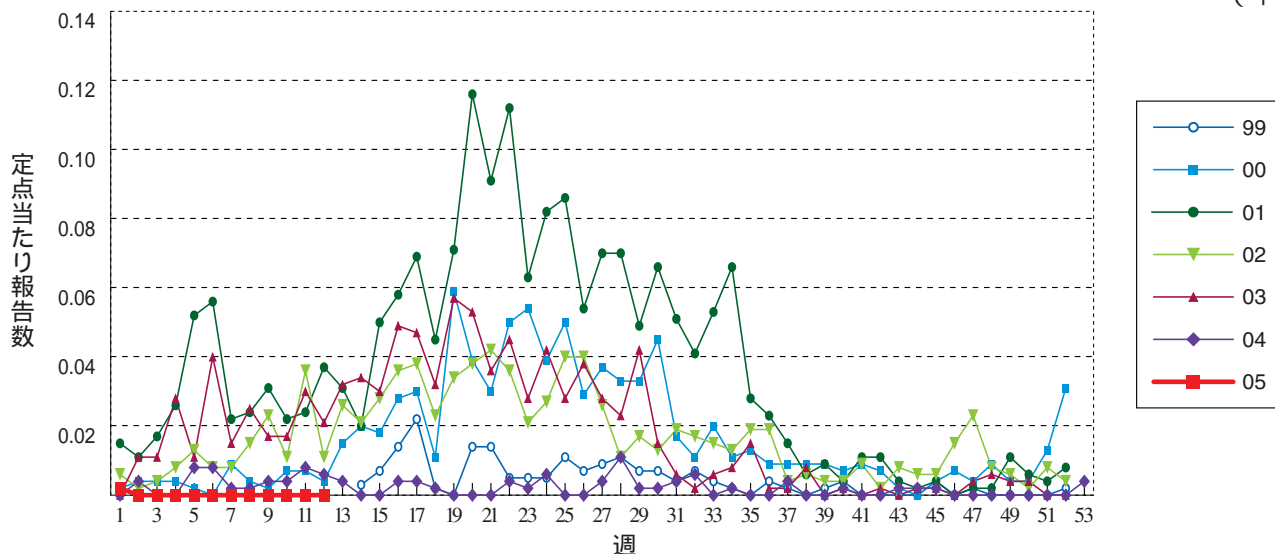
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



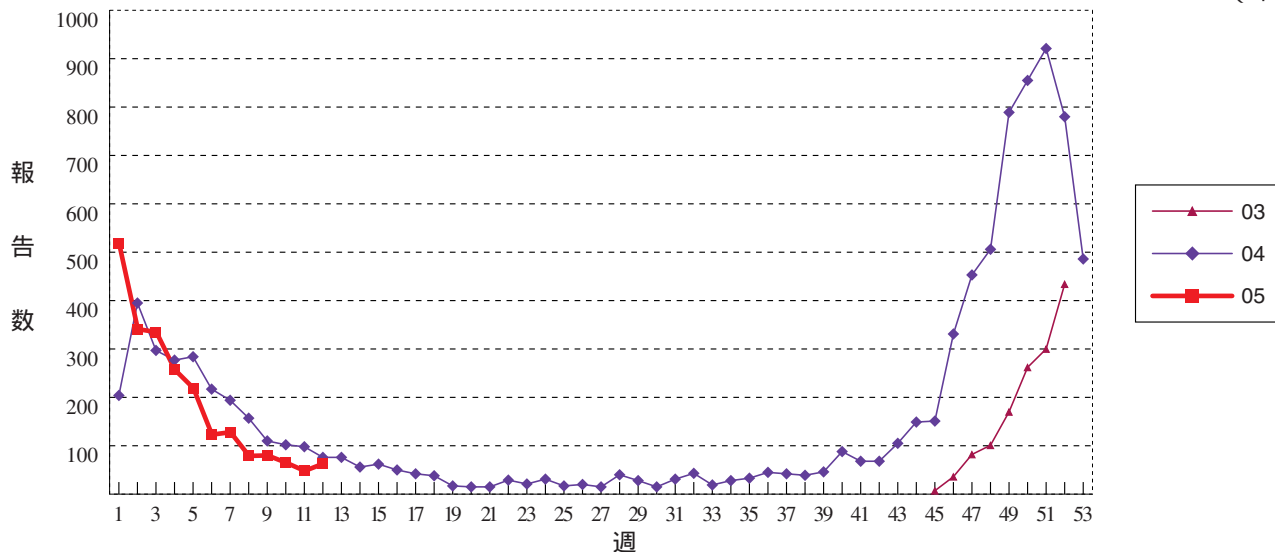
成人麻しん

(年)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)





12週のデータ

注)表中の報告数は3月31日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成17年12週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	9	139	-	12	-	2	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	1	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	-	2	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	22	-	2	-	1	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42	-	1	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	16	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年12週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	13	138	5	145	-	5	-	-	-	14	-	-	-	76
北海道	-	-	-	-	-	-	-	3	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	37	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	3	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	-	7	-	35	-	-	-	-	-	2	-	-	-	10
神奈川県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
新潟県	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	6	-	13	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	2	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	3	9	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
兵庫県	-	-	-	-	-	3	-	5	-	-	-	-	-	6	-	-	-	5
奈良県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	12	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	1	2	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
広島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
山口県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	8	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	9	11	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年12週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	2	-	-	-	3	1	34	1	19	11	241	-	-	-	12	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	1	12	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	1	6	-	2	2	77	-	-	-	1	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	9	-	-	-	4	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	12	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	17	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	2	36	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	5	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年12週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	2	-	-	-	-	-	22	-	7	1	1	-	-	4	112	1	13
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-
東京都	-	1	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	22	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	14	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-
山口県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	3	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年12週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	1	26
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
東京都	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年12週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	1	12	-	-	1	50	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	2	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	1	3	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年12週

	野 兎 病		リッサウイルス感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	1	-	60	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
東京都	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県別

平成17年12週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	78911	16.78	395	0.13	3270	1.07	16235	5.32	5005	1.64	449	0.15	539	0.18	1427	0.47	27	0.01
北海道	5312	23.20	16	0.11	312	2.15	333	2.30	214	1.48	3	0.02	14	0.10	48	0.33	1	0.01
青森県	1824	28.06	1	0.02	75	1.79	165	3.93	41	0.98	7	0.17	8	0.19	15	0.36	-	-
岩手県	1606	25.90	1	0.03	16	0.43	126	3.41	46	1.24	16	0.43	7	0.19	14	0.38	-	-
宮城県	2125	21.46	6	0.10	81	1.33	283	4.64	103	1.69	9	0.15	19	0.31	32	0.52	-	-
秋田県	2328	42.33	8	0.23	23	0.66	159	4.54	31	0.89	1	0.03	13	0.37	12	0.34	-	-
山形県	1224	25.50	-	-	84	2.80	125	4.17	57	1.90	-	-	7	0.23	17	0.57	1	0.03
福島県	1788	22.35	8	0.17	49	1.02	311	6.48	107	2.23	5	0.10	35	0.73	17	0.35	-	-
茨城県	1152	9.76	4	0.05	68	0.92	221	2.99	79	1.07	-	-	4	0.05	15	0.20	1	0.01
栃木県	997	14.24	2	0.04	34	0.74	128	2.78	36	0.78	1	0.02	2	0.04	20	0.43	3	0.07
群馬県	1208	12.08	4	0.06	72	1.16	310	5.00	82	1.32	9	0.15	4	0.06	27	0.44	-	-
埼玉県	2427	9.44	19	0.12	180	1.12	930	5.78	266	1.65	11	0.07	13	0.08	92	0.57	-	-
千葉県	1931	9.07	10	0.07	165	1.23	606	4.52	210	1.57	25	0.19	18	0.13	64	0.48	-	-
東京都	1178	6.62	15	0.11	109	0.77	696	4.90	149	1.05	12	0.08	22	0.15	61	0.43	-	-
神奈川県	3083	9.20	34	0.17	175	0.85	1052	5.11	297	1.44	34	0.17	43	0.21	114	0.55	1	0.00
新潟県	2342	23.66	12	0.20	93	1.55	234	3.90	85	1.42	11	0.18	3	0.05	26	0.43	-	-
富山県	1087	22.65	3	0.10	43	1.48	203	7.00	59	2.03	6	0.21	8	0.28	11	0.38	-	-
石川県	1109	23.10	5	0.17	59	2.03	230	7.93	55	1.90	3	0.10	2	0.07	10	0.34	-	-
福井県	1208	37.75	15	0.68	32	1.45	266	12.09	48	2.18	1	0.05	2	0.09	9	0.41	-	-
山梨県	470	11.46	1	0.04	16	0.64	66	2.64	25	1.00	2	0.08	-	-	4	0.16	-	-
長野県	2209	25.10	2	0.04	74	1.35	333	6.05	91	1.65	9	0.16	-	-	33	0.60	-	-
岐阜県	1564	18.62	17	0.32	50	0.94	153	2.89	64	1.21	4	0.08	7	0.13	24	0.45	-	-
静岡県	2185	15.95	20	0.23	70	0.81	520	6.05	197	2.29	10	0.12	15	0.17	46	0.53	-	-
愛知県	4109	21.07	26	0.14	122	0.67	748	4.11	219	1.20	47	0.26	12	0.07	57	0.31	1	0.01
三重県	1257	17.22	22	0.49	49	1.09	423	9.40	94	2.09	3	0.07	11	0.24	27	0.60	-	-
滋賀県	1174	23.02	4	0.12	15	0.45	106	3.21	41	1.24	5	0.15	3	0.09	22	0.67	-	-
京都府	1411	11.66	1	0.01	46	0.61	272	3.63	118	1.57	9	0.12	3	0.04	24	0.32	-	-
大阪府	2534	8.80	22	0.11	171	0.86	833	4.21	250	1.26	41	0.21	36	0.18	86	0.43	3	0.02
兵庫県	2773	14.15	30	0.23	113	0.88	715	5.59	224	1.75	9	0.07	30	0.23	58	0.45	1	0.01
奈良県	846	15.67	3	0.09	18	0.53	155	4.56	38	1.12	3	0.09	3	0.09	9	0.26	-	-
和歌山県	870	17.40	2	0.06	21	0.68	167	5.39	56	1.81	22	0.71	3	0.10	10	0.32	-	-
鳥取県	508	17.52	3	0.16	31	1.63	153	8.05	16	0.84	8	0.42	-	-	16	0.84	-	-
島根県	463	12.51	4	0.17	17	0.74	135	5.87	31	1.35	1	0.04	4	0.17	18	0.78	-	-
岡山県	1419	16.89	5	0.09	26	0.48	295	5.46	112	2.07	5	0.09	8	0.15	28	0.52	-	-
広島県	1773	14.90	9	0.12	75	1.01	572	7.73	115	1.55	13	0.18	7	0.09	38	0.51	2	0.03
山口県	1463	20.90	4	0.08	72	1.47	373	7.61	93	1.90	1	0.02	4	0.08	29	0.59	-	-
徳島県	564	14.84	4	0.17	31	1.35	161	7.00	32	1.39	19	0.83	8	0.35	9	0.39	-	-
香川県	923	18.10	2	0.06	23	0.72	139	4.34	70	2.19	5	0.16	2	0.06	21	0.66	1	0.03
愛媛県	1731	27.05	2	0.05	45	1.15	277	7.10	54	1.38	14	0.36	-	-	24	0.62	1	0.03
高知県	1031	21.04	2	0.06	54	1.74	171	5.52	45	1.45	12	0.39	6	0.19	9	0.29	-	-
福岡県	3554	17.95	13	0.11	166	1.38	967	8.06	320	2.67	21	0.18	97	0.81	88	0.73	4	0.03
佐賀県	538	15.37	1	0.04	35	1.52	162	7.04	48	2.09	3	0.13	15	0.65	13	0.57	-	-
長崎県	1395	20.51	2	0.05	29	0.66	260	5.91	77	1.75	-	-	3	0.07	12	0.27	1	0.02
熊本県	1456	18.20	13	0.27	40	0.83	327	6.81	58	1.21	7	0.15	5	0.10	26	0.54	2	0.04
大分県	1306	22.52	-	-	51	1.42	347	9.64	85	2.36	5	0.14	14	0.39	21	0.58	-	-
宮崎県	1174	19.57	11	0.30	76	2.05	570	15.41	128	3.46	2	0.05	3	0.08	32	0.86	1	0.03
鹿児島県	1530	16.63	7	0.13	45	0.82	423	7.69	158	2.87	6	0.11	16	0.29	29	0.53	1	0.02
沖縄県	2752	47.45	-	-	19	0.56	34	1.00	181	5.32	9	0.26	-	-	10	0.29	2	0.06

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成17年12週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	12	0.00	136	0.04	6	0.00	2630	0.86	16	0.03	381	0.60	9	0.02	7	0.01	86	0.18
北海道	1	0.01	4	0.03	-	-	72	0.50	-	-	11	0.38	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	-	-	-	-	13	0.31	-	-	7	0.64	-	-	-	-	1	0.17
岩手県	-	-	3	0.08	-	-	17	0.46	-	-	8	0.67	-	-	-	-	3	0.15
宮城県	-	-	1	0.02	1	0.02	28	0.46	-	-	3	0.25	-	-	1	0.08	2	0.17
秋田県	-	-	-	-	-	-	1	0.03	-	-	5	0.71	-	-	-	-	1	0.13
山形県	1	0.03	-	-	-	-	33	1.10	-	-	5	0.63	-	-	-	-	4	0.40
福島県	-	-	1	0.02	-	-	28	0.58	1	0.08	8	0.67	-	-	-	-	3	0.43
茨城県	-	-	1	0.01	-	-	30	0.41	-	-	24	1.50	-	-	-	-	2	0.18
栃木県	-	-	-	-	-	-	16	0.35	-	-	5	0.42	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	6	0.10	-	-	20	0.32	-	-	32	2.29	-	-	-	-	6	0.60
埼玉県	-	-	3	0.02	-	-	131	0.81	-	-	24	0.67	2	0.22	-	-	5	0.56
千葉県	2	0.01	4	0.03	-	-	205	1.53	1	0.03	13	0.38	-	-	-	-	2	0.22
東京都	-	-	2	0.01	1	0.01	90	0.63	-	-	12	0.86	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	4	0.02	-	-	144	0.70	1	0.02	14	0.33	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	3	0.05	-	-	28	0.47	-	-	2	0.22	-	-	-	-	6	0.46
富山県	-	-	1	0.03	-	-	43	1.48	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	40	1.38	-	-	3	0.43	-	-	-	-	3	0.60
福井県	-	-	-	-	-	-	118	5.36	-	-	-	-	2	0.33	-	-	1	0.17
山梨県	-	-	-	-	-	-	7	0.28	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.40
長野県	-	-	-	-	-	-	27	0.49	-	-	6	0.55	-	-	-	-	3	0.27
岐阜県	-	-	6	0.11	-	-	56	1.06	-	-	5	0.42	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	74	0.86	-	-	6	0.30	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	0.01	2	0.01	1	0.01	157	0.86	-	-	13	0.37	1	0.08	-	-	9	0.69
三重県	-	-	-	-	-	-	30	0.67	-	-	4	0.33	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	1	0.03	-	-	27	0.82	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	53	0.71	-	-	4	0.22	-	-	-	-	2	0.29
大阪府	1	0.01	8	0.04	1	0.01	160	0.81	1	0.02	11	0.21	1	0.07	-	-	-	-
兵庫県	1	0.01	7	0.05	-	-	61	0.48	3	0.09	20	0.57	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	2	0.06	-	-	34	1.00	-	-	1	0.11	-	-	-	-	2	0.33
和歌山県	1	0.03	10	0.32	-	-	19	0.61	-	-	2	0.50	-	-	-	-	3	0.27
鳥取県	-	-	-	-	-	-	5	0.26	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.20
島根県	-	-	1	0.04	-	-	2	0.09	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.02	2	0.04	1	0.02	26	0.48	-	-	13	1.08	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	1	0.01	-	-	123	1.66	-	-	28	1.40	-	-	3	0.16	5	0.26
山口県	-	-	1	0.02	-	-	16	0.33	-	-	5	0.56	-	-	-	-	6	0.67
徳島県	-	-	-	-	-	-	5	0.22	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	7	0.22	-	-	65	2.03	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	22	0.56	-	-	62	1.59	1	0.14	11	1.57	-	-	-	-	1	0.17
高知県	-	-	4	0.13	-	-	16	0.52	-	-	3	1.00	-	-	1	0.14	2	0.29
福岡県	-	-	11	0.09	-	-	240	2.00	3	0.12	13	0.50	-	-	-	-	3	0.20
佐賀県	-	-	4	0.17	-	-	47	2.04	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.29
長崎県	-	-	1	0.02	-	-	52	1.18	3	0.38	5	0.63	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.02	4	0.08	-	-	101	2.10	-	-	13	1.44	-	-	1	0.07	-	-
大分県	-	-	3	0.08	-	-	29	0.81	1	0.20	4	0.80	-	-	1	0.09	-	-
宮崎県	-	-	2	0.05	-	-	36	0.97	1	0.25	13	3.25	2	0.29	-	-	1	0.14
鹿児島県	-	-	2	0.04	-	-	22	0.40	-	-	5	0.71	-	-	-	-	1	0.08
沖縄県	1	0.03	2	0.06	1	0.03	21	0.62	-	-	7	0.70	1	0.14	-	-	2	0.29

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成17年12週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症 報告数
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	3	0.01	-	-	63
北海道	-	-	-	-	3
青森県	-	-	-	-	...
岩手県	1	0.05	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	...
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-
千葉県	1	0.11	-	-	2
東京都	-	-	-	-	7
神奈川県	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	1	0.10	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	5
静岡県	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	3
兵庫県	-	-	-	-	4
奈良県	-	-	-	-	...
和歌山県	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	4
山口県	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	...
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	3
福岡県	-	-	-	-	5
佐賀県	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	...
大分県	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	9

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(…)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

平成16年10月1日より感染症法に基づく獣医師が届出を行う感染症と対象動物が追加されました。
*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年12週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群*						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	1	2	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

感染症週報 第7巻 第12号 平成17年4月8日発行
発行：国立感染症研究所
厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部
事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
T E L : 03-5285-1111
F A X : 03-5285-1129
U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
< 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
< 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。